

今年も心温まる歌・演奏

第23回おかえりなさいコンサート



5月18日、ハーモニープラザで、第23回おかえりなさいコンサートが開催されました。多くの方がボランティアスタッフとなり、観客でいっぱいになった会場では、こぶし一座の笑いの寸劇「もう一つの水戸黄門—オリンペックとあべのミックス」が上演されたほか、白鷹陽光学園など7グループが歌や演奏を披露しました。出演者と観客がひとつになり、今年も「ほっ」とするあたたかいコンサートとなりました。

秋の餅つきが楽しみです ひがしね保育園で田植え体験



5月28日、ひがしね保育園年長児28人が田植えを体験しました。JA青年部東根支部の皆さんに植え方を教わり、もち米を植えました。泥に足をとられて尻もちをついたり、足が抜けなくなって引き上げてもらう園児も。秋には稲刈りを体験し、収穫するお米は祖父母学級で餅つきをしてみんなで味わうほか、給食で栗ごはんにして食べる予定です。

大きく育って戻ってきてね

最上川に鮎の稚魚を放流



6月4日、鮎貝小学校の4年生33人が、最上川に白鷹町の魚「鮎」の稚魚を放流しました。稚魚の放流は西置賜漁業組合白鷹支部（小林秀正支部長）が毎年行っていますが、小学生が放流するのは今年が初めてで、鮎は生まれた川に戻ってきて産卵することや1年しか生きられないことを教わりました。児童たちは、「大きく育って戻ってきて」と、放流された小さな稚魚を目で追っていました。

マリンバ&パーカッション 鷹山小学校でスクールコンサート



6月4日、鷹山小学校で、マリンバ&パーカッションアンサンブル「チアーズ」によるスクールコンサートが開催されました。コンサートでは、みんなで体全体を使ってのボディーパーカッションでの演奏をしたり、また、マリンバ(木琴の一種)のあたたかみのある音色の演奏で「学校坂道」を歌いました。コンサートは家族の方も鑑賞し、鷹山小学校最後の年度の楽しい思い出となりました。

旭日双光章を受章

新野康雄さん（広野）

新野康雄さんが平成26年春の叙勲において、産業振興功労者として旭日双光章を受章されました。新野さんは、昭和47年から白鷹町酪農組合の組合長として町酪農業の規模拡大と経営の安定化に努め町酪農業の発展に寄与されました。また、山形県酪農農業協同組合長、全国酪農農業共同組合連合会副会長などの要職に就き、酪農専門農協の組織運営と夢のある酪農経営づくりに努められ、県内のみならず全国の酪農振興にも尽力されました。このような功績により、このたびの受章となりました。おめでとうございます。

